



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6090 URL <https://humanmetabolome.com>

代表者 （役職名）代表取締役社長兼CFO （氏名）大畑 恭宏

問合せ先責任者 （役職名）代表取締役社長兼CFO （氏名）大畑 恭宏 TEL 03-3551-2180

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	192	△29.8	△91	—	△90	—	△97	—
2025年6月期第1四半期	274	16.5	△5	—	△14	—	△35	—

（注）包括利益 2026年6月期第1四半期 △95百万円（－％） 2025年6月期第1四半期 △41百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	△17.10	—
2025年6月期第1四半期	△5.99	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期第1四半期	2,002	1,686	84.2
2025年6月期	2,374	1,908	79.6

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 1,686百万円 2025年6月期 1,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		0.00	—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,600	10.0	300	20.2	300	24.5	260	1.4	45.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	5,919,797株	2025年6月期	5,919,797株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	259,244株	2025年6月期	227,644株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	5,680,762株	2025年6月期1Q	5,915,589株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は、決算発表後速やかにTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調にありますが、物価上昇、地政学的リスク、米国の通商政策等の影響や金融政策の変更などに伴い、内外経済が下振れするリスクがあることから、引き続き先行きの不透明な状況が続くことが見込まれます。

当社グループが属するライフサイエンス業界では、健康管理へのニーズの高まりを受けた研究開発の増加傾向が継続しています。またバイオエコノミー推進政策によるバイオものづくり関連の研究開発も増加が見込まれています。

このような状況の中、当社グループではライフサイエンス研究支援サービス、機能性素材開発支援サービスに加えて、バイオものづくり支援サービスの提供を開始し、受注拡大に向けた活動を行いました。研究開発においては、バイオものづくり支援サービス向けの開発を継続するとともに、新サービスの開発にも取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、192,377千円（前年同期比29.8%減）と大幅な減少となりました。バイオものづくり支援サービスは7月の上市後好調に受注が推移し、売上も計上できました。一方でライフサイエンス研究支援サービスにおいては、主にアカデミアでの売上が大幅に減少いたしました。昨年計上した大型案件が年度後半に移行または削減されたことが主な要因です。また機能性素材開発支援サービスも顧客の臨床試験スケジュールのはざまとなったことから売上が減少いたしました。販売費・一般管理費は賃上げなどによる人件費増により増加いたしました。結果、営業損失は91,141千円（前年同期は5,061千円の営業損失）、経常損失は90,522千円（前年同期は14,737千円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は97,176千円（前年同期は35,424千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「先端研究開発支援事業」及び「ヘルスケア・ソリューション事業」の2セグメントから、「メタボローム解析受託サービス事業」の単一セグメントに変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（セグメント情報等の注記）」の「（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載しております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,507,091千円となり、前連結会計年度末に比べ357,716千円減少しました。これは、賞与支給、未払金の支払い、未払消費税等の納付及び配当の支払い等により現金及び預金が274,534千円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は495,712千円となり、前連結会計年度末に比べ14,087千円減少しました。これは最新の測定機器の導入に伴い工具、器具及び備品が27,485千円増加、建物及び構築物が5,401千円増加しましたが、契約期間が満了となったことでリース資産が22,077千円減少、繰延税金資産が賞与支給等の取崩等により23,923千円減少したこと等によるものであります。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は300,308千円となり、前連結会計年度末に比べ149,634千円減少しました。これは未払金が60,073千円、賞与の支給により賞与引当金が65,313千円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は16,169千円となり、前連結会計年度末に比べ103千円増加しました。これは、リース債務が97千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,686,325千円となり、前連結会計年度末に比べ222,271千円減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失97,176千円の計上、配当金の支払い85,382千円等により、利益剰余金が182,559千円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、例年第3四半期連結会計期間に収益が偏る傾向にありますが、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、予想の範囲内で推移しております。また、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましても、現在のところ重要な変更事項はありません。そのため、通期の業績予想につきましては、2025年8月8日公表から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,562,417	1,287,882
売掛金	175,281	117,841
商品	18,144	22,638
仕掛品	22,107	27,774
原材料及び貯蔵品	10,901	12,243
その他	80,052	42,923
貸倒引当金	△4,098	△4,213
流動資産合計	1,864,807	1,507,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,597	76,998
工具、器具及び備品	734,540	762,026
リース資産	57,660	35,582
建設仮勘定	1,292	2,551
減価償却累計額	△580,138	△582,521
有形固定資産合計	284,952	294,637
無形固定資産	12,810	12,975
投資その他の資産		
投資有価証券	49,980	49,980
繰延税金資産	157,021	133,097
破産更生債権等	9,746	9,746
その他	5,034	5,021
貸倒引当金	△9,746	△9,746
投資その他の資産合計	212,036	188,099
固定資産合計	509,799	495,712
資産合計	2,374,607	2,002,803
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,860	12,120
短期借入金	100,000	100,000
リース債務	7,011	4,266
未払金	97,802	37,728
未払法人税等	16,405	2,429
賞与引当金	89,257	23,944
その他	135,605	119,818
流動負債合計	449,943	300,308
固定負債		
リース債務	3,457	3,554
資産除去債務	12,609	12,615
固定負債合計	16,066	16,169
負債合計	466,009	316,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,488,979	1,488,979
資本剰余金	7,378	7,378
利益剰余金	585,003	402,444
自己株式	△166,586	△190,091
株主資本合計	1,914,775	1,708,711
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△24,171	△22,385
その他の包括利益累計額合計	△24,171	△22,385
新株予約権	17,993	—
純資産合計	1,908,597	1,686,325
負債純資産合計	2,374,607	2,002,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	274,168	192,377
売上原価	119,568	116,070
売上総利益	154,599	76,306
販売費及び一般管理費	159,661	167,447
営業損失(△)	△5,061	△91,141
営業外収益		
受取利息及び配当金	152	1,438
その他	—	258
営業外収益合計	152	1,697
営業外費用		
支払利息	632	627
自己株式取得費用	—	233
為替差損	9,191	211
その他	4	6
営業外費用合計	9,828	1,078
経常損失(△)	△14,737	△90,522
特別利益		
新株予約権戻入益	4,232	17,993
特別利益合計	4,232	17,993
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,505	△72,528
法人税、住民税及び事業税	536	724
法人税等調整額	24,382	23,923
法人税等合計	24,918	24,648
四半期純損失(△)	△35,424	△97,176
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,424	△97,176

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
四半期純損失（△）	△35,424	△97,176
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,624	1,786
その他の包括利益合計	△5,624	1,786
四半期包括利益	△41,049	△95,390
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,049	△95,390
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	20,798千円	27,342千円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

「当第1四半期連結累計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

当社グループは、メタボローム解析受託サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「先端研究開発支援事業」及び「ヘルスケア・ソリューション事業」の2セグメントから、「メタボローム解析受託サービス事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、当社グループの事業展開、経営資源配分等の意思決定のプロセスや実態を考慮した結果、「メタボローム解析受託サービス事業」として統合した単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更により当社グループの今後の成長加速において、限られたリソースをより機動的かつ有機的に活用し、集中的に戦略領域に投下することで効率的な研究開発投資を行いつつ、新規事業を確実に立上げ、高付加価値事業を拡大していくことで企業価値の向上につなげてまいります。

なお、この変更により、当社グループは「メタボローム解析受託サービス事業」の単一セグメントとなることから、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売実績

種類	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	増減率
ライフサイエンス研究支援事業	197,833千円	122,976千円	△37.8%
機能性素材開発支援事業	76,334千円	36,220千円	△52.6%
バイオものづくり支援事業	—	33,181千円	—
合計	274,168千円	192,377千円	△29.8%